

学校だより

12月号



師走に想う「當麻」の誇りと未来への力

校長 岡島 眞寿美

師走を迎え、寒さ厳しき折となりましたが、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

去る十一月二十二日に開催いたしました午前の「わくわく発表会」では、「ここがふるさと當麻」當麻に育つ喜びを語り合う「そして未来へ」のテーマをもとに「當麻学」として学んだことを堂々と発表することができました。子どもたちは、地域の資産である當麻の文化と歴史を調べ、未来に向かって歩む當麻の姿を体现することができました。

また、午後からの創立百五十周年記念行事「ワクワク百五十周年！みんなでつくる たいまっ子交流祭」には、多くの保護者や地域の皆様、ご来賓の方々、歴代の先生方にご来場いただき、盛会のうちに終えることができました。加えて、校舎内では地域の皆様のご協力で、様々なイベントを行うことができました。當麻の地域の力を集結していただき、改めて厚く御礼申し上げます。

今回の交流祭は、まさに子どもたちの情熱と主体性の賜物でした。この交流祭では、児童一人ひとりが企画や準備に熱心に取り組みました。低学年が心を込めて作った看板、中学年が用意したスタンプや一生懸命取り組んだ子ども相撲甚句、高学年がリードした体験企画や映像制作、対話テーブル（タイムテーブル）製作など、それぞれの学年が役割を果たす姿は、當麻小学校の歴史と未来への「想い」を見事に表現していました。受け継がれてきた金管クラブの伝統は、創立百五十周年記念バンドとして、美しい音色を響き渡せることができました。この交流祭を通じて子どもたちが体得した、「自ら考え、行動する力」と「ふるさとを誇りに想う心」は、百五十年の歴史から受け継いだ最も尊い贈り物だと感じています。

そして、十一月は、當麻小学校の最高学年である六年生が、その力を最も発揮した月となりました。記念行事では、中心となって企画・運営を担い、ご来賓や地域の方々への丁寧な対応を通じて、高学年としての役割を立派に果たしました。その責任感、他の在校生にとっても手本となりました。修学旅行においても、平和学習を深めるだけでなく、集団行動や時間管理を徹底し、「六年生としての学び」を高い意識で実践してくれました。友達と協力し、課題を乗り越える中で身につけた協調性や、見聞を広げる中で培った学びに向かう姿勢は、卒業後の未来へ続く大きな財産となるはずです。

最後に、長かった二学期も、残すところあとわずかとなりました。様々な行事や学習を通して、子どもたちは大きく成長しました。特に、粘り強く課題に向き合う姿勢や、友達と考えを伝え合うコミュニケーション能力が着実に向上していることを感じています。学期末を迎え、子どもたち一人ひとりがこの成長をしっかりりと自覚し、さらなる活躍をしてくれることを期待しています。私たち教職員一同も、子どもたちの確かな成長を支えられるよう、力を尽くしてまいります。これからも、温かいご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



葛城市小学校音楽会 (11月21日)

葛城市小学校音楽会が、マルベリーホールで開かれました。本校は、4年生が、合唱「気球に乗ってどこまでも」合奏「風になりたい」を演奏しました。美しい歌声と合奏が響き渡りました。市内の小学校と音楽で交流することができ、有意義な時間を過ごすことができました。



6年修学旅行広島方面（11月26日27日）

6年生が、広島方面に修学旅行に行きました。1日目は、広島平和記念公園、平和記念資料館、原爆ドームに行って、平和学習を行いました。當麻小学校の全校児童と當麻第一保育所と當麻幼稚園の子どもたちが、平和の祈りを込めて折った折り鶴を届け、戦争のない世界を誓いました。2日目は、宮島に渡り、厳島神社や大鳥居を見学しました。伝統的な社殿や美しい庭園を見ることができました。しゃもじ作りなど、たくさんの思い出を作ることができました。



創立150周年記念行事「ワクワク150周年！みんなでつくる たいまっ子交流祭」(11月22日)

11月22日(土)に、澄み渡る青空が広がる中、當麻小学校創立150周年記念行事「ワクワク150周年！みんなでつくる たいまっ子交流祭」を実施しました。、葛城市長阿古様、葛城市教育委員会教育長椿本様をはじめとするご来賓の皆様、歴代の校長先生方、そして長きにわたり本校を支えてくださった地域の皆様、保護者の皆様など、大変多くの方々にご来場いただき、盛大に開催することができました。



〒六三九-0273 奈良県葛城市染野三二番地
発行者 當麻小学校 校長 岡島 眞寿美
電話 0745-481-2059
FAX 0745-481-2140
発行日 令和七年十二月二日(火)